

住宅改修工事費見積書（内訳書）

必ず「被保険者氏名」を記入してください。
（名字のみや上様等は不可。）

作成年月日 年 月 日

■■■ ▲▲▲ 様

（施工者）

明細書の番号と図面の番号、写真の番号
が合致するように作成してください。

●●市（町）★★★字■■■123 番地
（有）○○○工務店
代表取締役 □□□ ▲▲▲ 印
電話 ☆☆☆☆-☆☆-☆☆☆☆

改修箇所ごと、改修の種類
ごとに区分してください。

【適切な例】

番号	改修箇所	改修の種類	改修の内容	数量	単価	金額	備考
①	玄関内	手すり取り付け	木製手すり 1000	1本	○○○	○○○	
			取付金具	2個	○○○	○○○	
			取付け費	2箇所		○○○	
②	玄関内	段差解消	式台(500×300×150)設置	1台	○○○	○○○○	
			取付金具	4個	○○○	○○○	
			取付け費	4箇所		○○○	
③	トイレ	手すり取り付け	木製手すり 800	1本	○○○	○○○	
			取付金具	2個	○○○	○○○	
			取付け費	2箇所		○○○	
④	洗面所	段差解消	床材(クッションフロア)	○○㎡	○○○○	○○○○○○	
			合板 t=12mm 下地共	○○㎡	○○○○	○○○○○○	
			施工費	○○㎡		○○○	

※改修の種類 ①手すりの取付け ②段差の解消 ③滑りの防止・移動の円滑化等のための床または通路面の材料変更 ④引き戸等への扉の取替え ⑤洋式便器等への取替え ⑥その他付帯工事

【不適切な例】

番号	改修箇所	改修の種類	改修の内容	数量	単価	金額	備考
①	浴室	段差の解消	ユニットバス設置工事	1式	○○○○	○○○○○○	
②	洗面所	手すり取り付け	手すり工事	1式	○○○	○○○	

※上記明細については、改修箇所ごと、改修種類ごとに記載されているが、改修の内容の詳細が確認できないことに加え、補助対象外（ユニットバス天井・壁）の部分が含まれているため審査ができません

❖ 工事費見積書作成にかかる注意事項 ❖

補助要件については、見積書及び請求内訳書の内容で審査しますので、次の点に注意してください。

- ・改修箇所ごと、改修の種類ごとに区分すること。（例／改修箇所：玄関、種類：段差解消）
- ・補助対象外の工事が含まれる場合には適切に区分すること。
- ・「○○工事一式」とは記入しないこと。

「手すり工事一式××万円」、「ユニットバス設置工事一式△△万円」等と記載された明細書では、見積内容が適正かどうかの審査ができませんので、見積書の再提出を依頼する場合があります。